

問 総合病院の医師確保の市独自対策を

答 努力しているが厳しい

山下 由美 議員

問 病院の医師不足問題は、国の医療制度に起因しているが、市にも住民の命と健康を守る責務がある。常勤の整形外科医、内科医、眼科医等確保の見通しは。また、医師にとって魅力ある病院をアピールしたり、奨学金制度を設けるなど独自の対策が必要だと思えますが。

市長 様々な情報をもとに努力しているが厳しい。

奨学金制度については、合併前各町に設置したが実らなかった。今までの経過も踏まえ検討する。

問 障害者施策は、世論と運動で一部の見直しは見られ



まちぐるみ健診

問 少子化対策夢基金を市・企業・市民で

答 協力を得る努力を、市も検討したい

岡田 初雄 議員

問 少子化対策に、市・企業そして市民による夢基金の設立は如何か。子宝誕生、花嫁祝金を含む、教育費等の支援、少子化対策の為の基金を、市は元より市全体で取り組む事は出来ないか。

市長 県下では、明石市が取り組みをしている。

市としては、企業、市民の皆様と理解と協力をお願いしなければ成り立たない。その事を深めていくと共に、市も検討をした

問 林業担い手育成に専門訓練校の設立を。

市長 林業担い手専門学校の設立は非常に難しい

ので、県立山の学校、森林林業技術センターとの連携を深めると共に、山の学校に対しては、

担い手育成について申し入れをし、検討を願っている。

市長 引原ダムは、県の管理にあり、使用協定に限るとある。又、カヌー施設は常設でありモーターボートの練習用のコースが確保出来かねるのではないかと思う。今後、検討をしていきたい。



6月3日 引原ダムでのカヌー競技会